

TKS report vol.15

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

第108期年次報告書

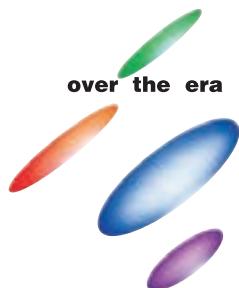
2013年3月1日～2014年2月28日

株式会社 **東京衡機**

TOKYO KOKI CO. LTD.

【東証2部上場（証券コード7719）】

■ トップメッセージ/企業理念



代表取締役社長
山本 勝三

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1923年に我が国初の試験機と衡器の専門メーカーとしてスタートし、昨年創業90周年の節目を迎えることができました。現在は、創業当初の「モノづくり」の原点に立ち返り、伝統ある試験機事業を中心に100周年に向け当社グループの更なる発展を目指しております。

当社グループの第108期は、日本経済再生に向けた政府の緊急経済対策や日本銀行のいわゆる異次元の金融緩和策等を背景に、長らく続いた大幅な円高傾向が止まり輸出関連産業を中心に企業収益が改善し、株価の上昇や個人消費の持ち直しなど景気の拡大傾向が顕著になってきた中で、試験機事業では、グループ各社の連携強化により市場動向をタイムリーに把握し、標準品のラインナップの充実と計画的な拡販を進めるとともに、住生活事業では、安定的に収益を確保すべく中国子会社の事業の見直し等に取り組ましました。また、ゆるみ止めナット事業では、引合いが増加している道

路関係を中心にハイパーロードナットの拡販に努めるとともに、より一層のコスト削減に取り組みました。

なお、当社は、第108期の決算作業の過程で連結子会社における固定資産の減損損失の認識の判定および当社個別財務諸表における当該連結子会社への投融資の評価等に関して会計上の見積りの誤りがあったことが判明したことから、過年度に遡って会計処理を訂正し、過年度の有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局に提出するとともに、過年度の決算短信等の一部を訂正し公表いたしました。これにより、決算発表が大幅に遅れ、報告事項の報告のために定時株主総会の継続会を開催するなど株主の皆様をはじめ関係各位に多大なご心配とご迷惑をお掛けいたしました。当社といたしましては、このような事態が起きたことを深く反省し、速やかに再発防止策を実行するとともに、グループ全体として逸早く黒字化を達成すべく、全力を挙げて業績の改善・向上に取り組む所存でありますので、皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

contents

トップメッセージ/企業理念	1
決算ハイライト	2
事業内容	3
事業の概況	4
特集 ELA 形電気サーボモータ式 疲労試験機のご紹介	5
連結財務諸表 (概要)	7
トピックス	9
株式情報/会社概要/役員等	10

TKS
TOKYO KOKI

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を
尊重する”とともに、やさしさと
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、
地域からも“信頼される
企業市民”であり続けます。

決算ハイライト

第108期 (2013年3月1日～2014年2月28日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	5,772百万円 (前年同期比 20.9%)	2,456百万円 (前年同期比 11.8%)
営業利益	△202百万円 (前年同期比 ー%)	△51百万円 (前年同期比 ー%)
経常利益	△277百万円 (前年同期比 ー%)	△22百万円 (前年同期比 ー%)
当期純利益	△418百万円 (前年同期比 ー%)	△245百万円 (前年同期比 ー%)
1株当たり当期純利益	△5円87銭	△3円44銭

業績のポイント

- ①国内企業の業績回復に伴い、試験機事業の受注環境が改善し、売上・利益も回復
- ②中国無錫の子会社の家電、家具部品の製造・販売が軌道に乗り、売上高が顕著に伸長
- ③中国瀋陽の子会社の事業のリストラに伴い、固定資産の減損損失を計上
- ④ゆるみ止めナット事業は電力業界の需要落込みが影響し引き続き厳しい状況で推移し、滞留在庫の評価損を計上

当期は、試験機事業では、研究開発や設備投資に関わる政府の補正予算の影響もあり、主要統計指標である機械受注の拡大傾向と軌を一にして受注環境に改善がみられ、当社単体における前年度後半での受注低迷が若干売上高に影響したものの、グループ全体の売上高は概ね計画どおり堅調に推移いたしました。

住生活事業では、当社単体で健康関連商品や波形手すりの販売が伸び悩んでいるものの、中国無錫の子会社における中国国内や欧米をターゲットとした家電、家具部品の製造・販売などの取組みが実を結び、売上高に顕著な回復がみられました。なお、金型・成型事業を主たる事業としていた中国瀋陽の子会社につきましては、ここ数年業績不振が続いたため、会社分割や当社の出資持分の譲渡等により事業のリストラを行い、同事業に係る固定資産の減損損失を計上しました。

ゆるみ止めナット事業では、主力製品であるハイパーロードナットの市場認知度が徐々に向上し、鉄道や高速道路施設等への採用拡大が進行しておりますが、主要販売先である電力業界の需要の落込みを挽回するには至らず、損益面で様々な製造原価低減策を実施しているものの、十分な効果が現れるまでには今しばらく時間を要し、長期滞留在庫の評価損計上等により大幅な営業損失を計上し、引き続き厳しい状況となりました。

また、ゆるみ止めナット事業を行う連結子会社(株)KHIの固定資産等について過年度遡及減損処理を行ったことに伴い同社の純資産が減少したことから、当社単体で、当社に係る貸倒引当金、債務保証損失引当金および関係会社事業損失引当金の繰入を行い、大幅な特別損失を計上いたしました。

以上の結果、当期の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

■ 業績の見通し (2014年5月30日の決算発表時点)

第109期 (2014年3月1日～2015年2月28日)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績	通期	6,000百万円	180百万円	130百万円	50百万円
	第2四半期累計	3,081百万円	98百万円	63百万円	22百万円
個別業績 (当社単体)	通期	2,660百万円	△9百万円	△5百万円	△1百万円
	第2四半期累計	1,407百万円	20百万円	22百万円	24百万円

事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するゆるみ止めナット事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

試験機の開発・設計・生産からメンテナンス・校正まで高度な技術力によりワンストップソリューションをご提供しています。



試験機事業

住生活事業

中国子会社の金型成型技術を活かし暮らしやライフスタイルに関わる生活用品やアパレル関連商品等の企画開発、製造販売、各種サービスのご提供を行っています。



住生活事業

TKS
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge Enrich Society

ゆるみ止め
ナット事業



ゆるみ止めナット事業

グループ企業の株式会社KHIが画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ防止スプリングを内蔵したナットとナットの脱落を防止するスプリングを製造・販売しています。



アジア地域における拠点



事業拠点



事業所

本社・相模工場

〒252-0151
神奈川県相模原市緑区三井315番地

本店

〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
第7棟ビル6階

西日本支店

〒532-0033
大阪府淀川区宮原四丁目1番45号
新大阪八千代ビル2階

国内子会社

株式会社東京試験機 (本社・工場：愛知県豊橋市)

株式会社東京衡機試験機サービス (本社：神奈川県川崎市)

株式会社KHI (本社・工場：福岡県北九州市門司区)

株式会社テークステレコム (本店：東京都千代田区)

海外子会社

無錫三和塑料製品有限公司 (中国江蘇省無錫市)

無錫特可思電器製造有限公司 (中国江蘇省無錫市)

上海參和商事有限公司 (中国上海市)

瀋陽特可思木芸製品有限公司 (中国遼寧省瀋陽市)

特可思(北京)進出口有限公司 (中国北京市)



事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランドイメージの強化、②新規事業への積極的参入と収益力の強化、③海外市場への展開を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

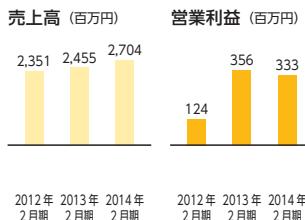
1 試験機事業の ブランドイメージの強化

2 新規事業への積極的参入と 収益力の強化

3 海外市場への展開

TESTING MACHINE BUSINESS 試験機事業

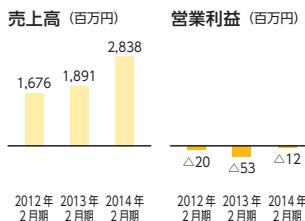
売上高	2,704百万円
営業利益	333百万円



当期は、ものづくりに関わる政府の補正予算の影響もあり、受注環境に改善がみられ、グループ全体としては概ね計画どおり堅調に推移いたしました。今後は、グループ各社の連携と合わせて国内外の代理店との関係をより一層強化し販売機会の拡大に努めるとともに、標準品のラインナップの充実や付加機能の開発、各種コントローラーの性能向上等を進め、計画的に売上拡大を図ります。

LIVING & LIFESTYLE BUSINESS 住生活事業

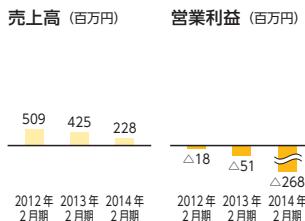
売上高	2,838百万円
営業損失	12百万円



当期は、中国無錫の子会社における中国や欧米の市場をターゲットとした家電、家具部品の製造・販売などの取組みが実を結び、売上高に顕著な回復がみられました。今後は、日本国内で取り扱っている健康関連商品や波形手すり「クネット」などの売上の底上げと経費の削減に取り組むとともに、中国子会社の事業体制を見直し、グループ全体の連携強化と利益率の向上を図ります。

NOT LOOSENING NUTS BUSINESS ゆるみ止めナット事業

売上高	228百万円
営業損失	268百万円



当期は、国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」に登録されているハイパーロードナットの市場認知度が徐々に向上し、高速道路施設等への採用拡大が進行いたしました。今後は、主要販売先である電力業界の需要の落込みを挽回すべく、生産体制をより一層効率化してコストの削減を図るとともに、品質管理体制を強化し、道路・鉄道関係を中心に製品の拡販に努めます。

—特集— ELA形電気サーボモータ式疲労試験機のご紹介



今回は、昨年新たにシリーズ化したELA (Electric Linear Actuator) 形電気サーボモータ式疲労試験機をご紹介します。

TKS
report vol.15



【試験をよりコンパクトにより手軽に】

当社は、各種部材や構造物の疲労評価試験については、これまで油圧サーボ式試験システムを中心に手掛けてきましたが、このたび、油圧サーボ式と比べてコンパクトでより手軽に試験を行える電気サーボモータ式疲労試験機がラインナップに加わりました。

従来からの油圧サーボ式は高荷重試験に適し、多用途の疲労試験機として主に自動車、船舶、重機械、建設の分野で利用されていますが、電気サーボモータ式は、樹脂・非鉄材料などの材料試験や小型機械部品の評価試験など様々な分野での活用を想定しています。



【電気サーボモータ式疲労試験機】



【油圧サーボ式疲労試験機「ネオパルス」】

シンプルなシステム構成

電気サーボモータ式は、電気リニアアクチュエータ本体とドライバ、操作パネルの3つのシンプルな構成となっています。油圧式アクチュエータと異なり油圧源装置や油圧配管が必要ないため据付が簡単で、設置場所や本体の姿勢の自由度も高くなります。また、比較的軽量でコンパクトな装置であるため、多様な用途に合わせて配置を変えることも容易です。



【電気リニアアクチュエータ】

ユーザーフレンドリーなコントローラ

電気サーボモータ式の操作部は、変位・荷重などの計測値のモニタリングや試験コントロールが簡単にできるユーザーフレンドリーなPLC (Programmable Logic Controller) 式コントローラとなっています。また、ハンディタイプのタッチパネルを採用しているため、持ち運びが簡単で、本体近くのワークの取付け作業も容易に行うことができます。



【PLC式コントローラ】

経済的でクリーン

電気サーボモータ式は、油圧源装置が不要で作動油や冷却水を必要としないため、油圧サーボ式と比べて設備導入時のコストとランニングコストが抑えられ、環境にも優しいことが特長です。

仕様

動的 定格出力	静的 定格出力	ピストン ストローク		ピストン 最大速度	電源	外形寸法	電源容量	質量
±5 kN	±3.5 kN	±50 mm	±100 mm	700 mm/s	3相 AC200~230 V 50/60 Hz	605×100×100 mm	4.5 kVA	約20 kg
±10 kN	±7 kN			700 mm/s		700×130×130 mm	8 kVA	約30 kg
±25 kN	±17.5 kN			250 mm/s		860×400×520 mm	16 kVA	約190 kg
±50 kN	±35 kN			250 mm/s		860×400×520 mm	30 kVA	約230 kg

※アクチュエータ寿命は負荷力、ピストン速度及び周波数に依存します。

連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

※前期の欄には、2014年5月29日に公表しました過年度決算訂正後の金額を記載しております。

連結貸借対照表

科目	前期 2013年2月28日現在	当期 2014年2月28日現在
資産の部		
流動資産	3,411	3,637
現金及び預金	886	837
受取手形及び売掛金 1	1,353	1,690
たな卸資産	1,058	1,024
繰延税金資産	6	6
その他	138	118
貸倒引当金	△ 32	△ 40
固定資産	1,825	1,735
有形固定資産 2	1,471	1,370
無形固定資産	215	152
繰延税金資産	16	4
投資その他	408	582
貸倒引当金	△ 285	△ 373
資産合計	5,237	5,372
負債の部		
流動負債	1,870	2,144
固定負債	1,396	1,553
負債合計 3	3,267	3,697
純資産の部		
株主資本 4	1,518	1,099
その他の包括利益累計額 5	451	575
純資産合計	1,970	1,675
負債純資産合計	5,237	5,372

Point1 受取手形及び売掛金

主に住生活事業の売上高増加に伴い前連結会計年度に比べ3億36百万円増加しております。

Point2 有形固定資産

主に中国瀋陽の子会社の事業の一時休止に伴う建物構築物等の減損により前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少しております。

Point3 負債合計

主に仕入増加に伴い買掛債務が2億52百万円増加したことに加え、未払金や退職給付引当金なども増加し、前連結会計年度末に比べ4億30百万円増加しております。

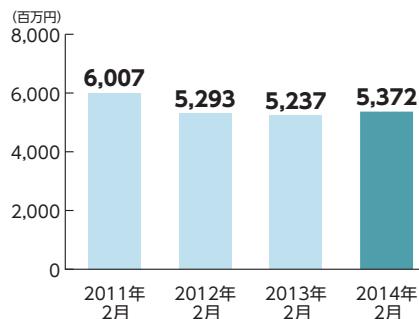
Point4 株主資本

主に当期純損失により前連結会計年度末に比べ4億18百万円減少しております。

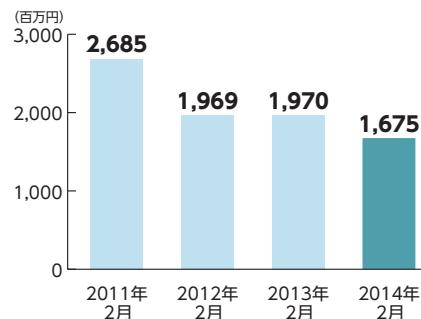
Point5 その他の包括利益累計額

主に中国人民幣に係る為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ1億23百万円増加しております。

総資産



純資産



1株当たり純資産



連結損益計算書

科目	前期	当期
	2012年3月1日～2013年2月28日	2013年3月1日～2014年2月28日
売上高 6	4,773	5,772
売上原価	3,517	4,541
売上総利益 7	1,255	1,230
販売費及び一般管理費	1,241	1,433
営業利益又は営業損失 (△)	14	△ 202
営業外収益	38	44
営業外費用	93	119
経常損失 (△)	△ 41	△ 277
特別利益	—	16
特別損失 8	10	82
税金等調整前当期純損失 (△)	△ 51	△ 343
法人税等	27	74
少数株主損益調整前当期純損失 (△)	△ 79	△ 418
当期純損失 (△) 9	△ 79	△ 418

Point6 売上高

売上高は前連結会計年度に比べ9億99百万円増加しております。試験機事業は2億48百万円、住生活事業は9億47百万円とそれぞれ増加するも、ゆるみ止めナット事業は1億96百万円の減少となっております。

Point7 売上総利益

売上総利益は前連結会計年度に比べ25百万円減少しております。これは主に試験機事業での高粗利案件の減少とゆるみ止めナット事業におけるたな卸資産の評価損計上によるものであります。また、売上総利益率は5ポイント悪化し、21.3%となっております。

Point8 特別損失

主に中国瀋陽の子会社および当社単体で減損損失を計上したものであります。

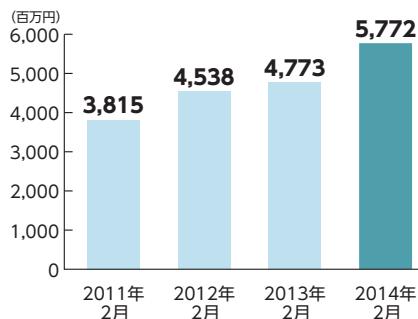
Point9 当期純損失

売上高は増加したものの売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加などにより前連結会計年度に比べ3億39百万円悪化しております。

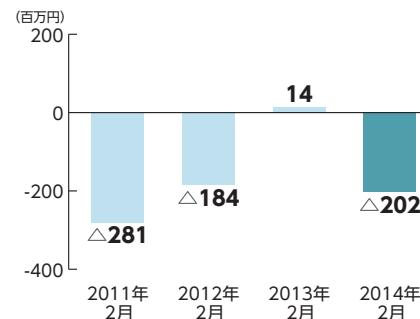
連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期	当期
	2012年3月1日～2013年2月28日	2013年3月1日～2014年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 42	△ 109
投資活動によるキャッシュ・フロー	4	△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 92	△ 1
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	41
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 114	△ 78
現金及び現金同等物の期首残高	981	866
現金及び現金同等物の期末残高	866	787

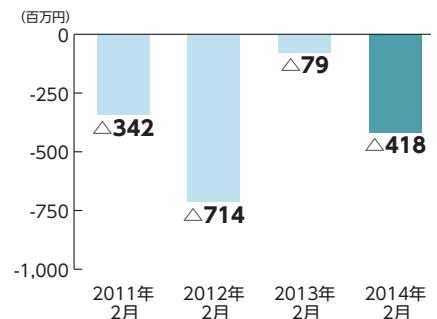
売上高



営業利益



当期純利益



トピックス

Car Testing China 2013への出展

当社は、2013年11月21日～23日の3日間、中国広東省広州市の広州琶洲国際展覧中心において開催された「Car Testing China 2013」に平面曲げ疲労試験機PBF-30Xを出展いたしました。本展示会は、広州市政府や広州汽車工業集団、中国汽車工業協会等の後援で日経BP社と



電計貿易（上海）有限公司が主催する自動車設計・製造における試験・検査・計測技術に関する展示会で、広州モーターショーの開催と合わせ、車両の電動化に関する電子技術の展示会やセミナーも同時に開催され、会場は大盛況となりました。当社ブースでは新製品の実機デモンストレーションのほか、高速・高出力型渦電流式電気動力計TEDシリーズやグループ会社(株)東京試験機の深絞り試験機のパネル紹介、中国語の製品カタログの配布等も行い、中国企業や中国に拠点を有する海外企業の関係者に当社グループの製品・技術をアピールするとともに、海外市場の動向の一端をうかがう有益な機会となりました。



代理店組織「東衡会」の総会開催

当社は、昨年創立90周年を機に一時活動を休止していた試験機事業の代理店組織「東衡会」を再組織化し、本年3月12日に本社・相模工場において総会を開催いたしました。「東衡会」は、機械系商社13社で構成され、会員相互の緊密な連携により東京衡機グループの製品およびサービスの拡販を推進し共存共栄を図ることを目的とし、試験機市場についてのマーケティングや商品開発に関する意見交換を主な活動事項としています。本年の総会では新役員の紹介、会員のサポートシステムの説明、新製品の開発状況の報告・説明、工場見学等が行われ、総会終了後には懇親会も実施し、当社グループと代理店各社の協調と親睦を深める貴重な機会となりました。



株式情報 (2014年2月28日現在)

● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,640名

*「発行済株式の総数」には自己株式24,635株を含みます。

● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社A.Cホールディングス	27,379千株	38.39%
オカザキファンド投資事業 有限責任組合	5,242千株	7.35%
あいおいニッセイ 同和損害保険株式会社	2,016千株	2.82%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
株式会社M.O.Cグループ	1,000千株	1.40%
日本証券金融株式会社	635千株	0.89%
中東 文和	339千株	0.47%
東京衡機従業員持株会	328千株	0.45%
SMBCフレンド証券株式会社	275千株	0.38%
米村 銀次郎	272千株	0.38%

*持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(24,635株)を控除しております。

● 株式の分布状況



● 事業法人等	34,589千株	48.49%	● 1単元未満	192名	5.27%
● 個人・その他	32,306千株	45.29%	● 1単元以上	2,115名	58.10%
● 金融機関	2,884千株	4.04%	● 5単元以上	508名	13.96%
● 証券会社	960千株	1.35%	● 10単元以上	677名	18.60%
● 外国法人等	573千株	0.80%	● 50単元以上	87名	2.39%
● 自己名義株式	24千株	0.03%	● 100単元以上	61名	1.68%
合計	71,337千株	100%	合計	3,640名	100%

会社概要 (2014年6月27日現在)

商号	株式会社東京衡機 (旧社名: 株式会社テークスグループ)
本社所在地	神奈川県相模原市緑区三井315番地
登記上の本店	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	89名(連結452名)(平成26年2月28日現在)
事業内容	試験・計測・計量機器、ロードセル、圧力検出器、歪ゲージ、トルク検出器等のセンサー類その他の関連機器の製造・販売、受託試験、プラスチック成型品、木工品、射出成型用金型の製造・輸入・販売、健康関連商品の販売、ゆるみ止めナットの販売

建設業許可 国土交通大臣許可(般-25)第17917号

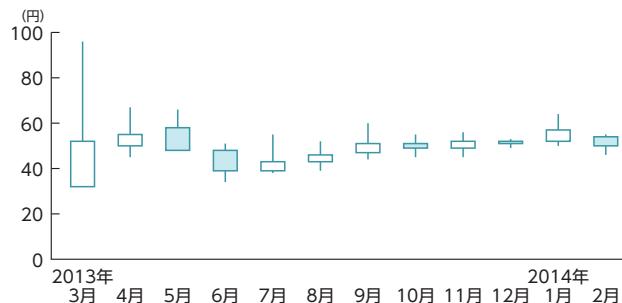
役員等 (2014年6月27日現在)

代表取締役会長	石川 隆一
代表取締役社長 (兼 住生活事業担当執行役員)	山本 勝三
常務取締役 (兼 試験機技術部門担当執行役員)	佐藤 良則
取締役 (兼 試験機営業部門担当執行役員)	川松 満
取締役 (兼 デバイス事業担当執行役員)	平田 真一郎
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役 (社外監査役)	管野 善則
監査役 (社外監査役)	高吉 廣美
監査役 (社外監査役)	藤田 泰三

会計監査人

新日本有限責任監査法人

● 株価の推移



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL http://www.tksnet.co.jp) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



ロゴマークについて

“技術力”“独創性”“人”“伝統”全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を“光のイメージ”に展開しています。

青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

赤：東京衡機の独創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“独創性”を「赤」で表現しています。

緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**
TOKYO KOKI CO. LTD.

(旧社名：株式会社テークスグループ)

〒252-0151 神奈川県相模原市緑区三井315番地

TEL 042-780-1650 FAX 042-784-6094

